

講義名	教養特講Ⅱ（都市・地域計画へのいざない）			授業形態	
担当教員	榎松 宏之	開講期・曜日・時間	後期 月曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	LBA118

主題と概要
専門科目である「都市・地域計画」では、都市計画法の法制度をベースに都市のマスタープランなどの基本的な考え方を学習することになるが、この授業では、地域のまちづくりが過去にどのように作られ、将来どのような方向に進むのかを学ぶ。地域まちづくりは、交通、防災、観光、飲食、住宅、歴史文化など幅広い社会経済活動により成り立っており、「都市・地域計画」の骨格にあてはめながら講義を行う。特に受講生が理解をしやすくする工夫として、国内外で都市開発事業が実施されている最新の事例を紹介しながら、専門知識の用語も解説し、地域まちづくりへの関心を深める授業とする。

到達目標
①「都市・地域計画」の基本的な全体骨格を理解することができる ②国内外で取り組まれている地域まちづくりの活動内容を理解することができる ③大都市や地方都市における将来の地域まちづくりの方向性を理解することができる。

提出課題
授業で取上げた国内外の事例紹介から都市地域計画の専門用語などの知識を学び、理解度を確認するために、「課題演習」や「確認テスト」を行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法
授業の最後には、講義の振り返りを行い、学習の理解度を確認します。期中に実施される「課題演習」「確認テスト」の準備として、授業に集中して、配布された資料を熟読すること。

評価の基準
平常点30％（課題演習など）、確認テスト70％（前半と後半に実施）とします。 前半と後半に2回実施する確認テストの受講は必須とす。 定期試験は行いません。

履修にあたっての注意・助言他
学生が地域まちづくり分野の全体像を把握するための基礎的な考え方やその事例を解説するので、課題演習に取組みながらその内容をきちんと理解してもらいたい。そのため、授業への出席と積極的な学習態度を奨励する。 なお、前半と後半に実施する確認テストは、講義室での筆記とする。講義で配布した講義資料は、持ち込みを可能とするが、スマホ及びパソコンの電子機器の持ち込みは不可とする。講義で学習した際、資料に書き込むなどの態度を身につけて欲しい。

教科書
.使用しない。

参考図書
.なし。

その他
授業の際にプリントを配布する。参考文献があれば、授業時間に紹介する。

授業計画
第 1 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅰ首都圏 テーマ「国際金融都市」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、首都圏（東京駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 2 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅱ首都圏 テーマ「ビジネス交流拠点」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、首都圏（虎ノ門地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 3 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅲ首都圏 テーマ「クリエイティブ都市」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、首都圏（渋谷地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 4 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅳ中部圏 テーマ「リニア新幹線」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、中部圏（名古屋駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 5 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅴ近畿圏 テーマ「イノベーション都市」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、近畿圏（梅田地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 6 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅵ北海道 テーマ「地域文化都市」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、北海道（札幌駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 7 回 大都市の地域まちづくり 事例Ⅶ九州 テーマ「アジア商業都市」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、九州（福岡駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第 8 回 大都市の地域まちづくり（後半講義の振り返りと確認テスト） 予習内容：第1回から第7回までの講義資料と講義ノートを復習して、前半確認テストの準備を行う。（4時間） 第 9 回 地方都市の地域まちづくり 事例Ⅷ北陸地方 テーマ「コンパクトシティ」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、北陸地方（富山地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第10回 地方都市の地域まちづくり 事例Ⅸ北陸地方 テーマ「北陸新幹線開通の期待」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、北陸地方（富山地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第11回 地方都市の地域まちづくり 事例Ⅹ中部地方 テーマ「中心市街地の活性化」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、中部地方（豊田駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第12回 地方都市の地域まちづくり 事例Ⅺ近畿圏 テーマ「地域景観」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、近畿圏（京都三条駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第13回 地方都市の地域まちづくり 事例Ⅻ近畿圏 テーマ「歴史文化」 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、近畿圏（滋賀長浜駅前地区）を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第14回 海外のまちづくり 世界の都市ランキング 事例Ⅼ欧米諸都市 予習内容：事前に配布される講義資料を読んで、「世界の都市ランキング（森記念財団）」を予習する。（2時間） 復習内容：講義資料及び講義ノートを復習し、授業内容の理解を深める（2時間） 第15回 地方都市等の地域まちづくり（後半講義の振り返りと確認テスト） 予習内容：第9回から第14回までの講義資料と講義ノートを復習して、後半確認テストの準備を行う。（4時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連
この授業は、教養科目で主に「都市地域計画」に関連する科目の概論について論じるものである。 ○ のため、本学のキャリアロ・ボリシに記載された「卒業時に身につけておくべき資質・能力」のうち、次の項目に強く関連する。 ○ 人間、社会、自然に関するこれまでの学習的成長の基礎を身に付け、現代社会の問題を幅広い視点から考察し、課題を提案することができる。 ○ 経済学を基礎として、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用
実務経験あり。都市開発業務の実績を活用して、分かり易く「都市地域計画」の基礎について解説をする。

備考